



75回生国内研修旅行（石垣島）報告！

国際総合科では、アメリカへの研修旅行がビッグイベントの1つですが、長くコロナ禍や不安定な世界情勢の影響で海外へ行くことが難しく、昨年度に引き続き、石垣島への国内研修旅行に代替となりました。1月から幾度と延期となりましたが、75回生国際総合科の皆さんはクラスメートと旅行に行けることに感謝しながら、4月13日（水）～16日（土）の3泊4日で石垣島を一杯楽しんでできました。天気もよく、たまにスコール、そして虹といった南国らしい天気も見られました。



初日は、学校を早朝に出発し、伊丹空港から那覇で乗り継ぎ、石垣島に入りました。機上からは蒼い海が見え、否が応でも気分が盛り上がりました。川平湾ではグラスボートに乗船し、様々なサンゴ礁やウミガメなどの海洋生物を楽しみました。海を見渡す高台にあるミルミル本舗でジェラートを楽しんだ後、市内のレストランで琉球舞踊を楽しみながら、琉球料理を満喫しました。夕刻にホテルに到着、リゾート感たっぷりの豪華ホテルでした。



2日目は、班ごとに分かれ、自然体験プログラムに参加しました。西表島でカヌーでマングローブ林を楽しんだり（何人かは必死でした）、幻の島（浜島）でシュノーケリングで蒼い海を楽しんだり、西表島ハイキングで本土とは違う自然を楽しんだりしました。竹富島で水牛車にも乗りました。夕食はトロピカルフルーツもたっぷりのバイキング。お腹いっぱいになったようです。



3日目はやいま村でリスザルと戯れ、シーサー農園でパリの雰囲気も味わえました。絶景の玉取崎展望台で記念撮影。その後、ユーグレナモールで昼食とお買い物タイム。午後はホテルで、地元の方との交流の機会を用意しました。「もっちゃん」には、島文化のお話と共に、歌もたっぷり披露してもらいました。夕食には皆で石垣牛BBQ。美味しい肉に納得でした。夕食後はビーチで花火。思い出を語り合いました。



最終日は、那覇経由で伊丹空港へと帰ってきました。那覇では短い時間ですが、皆で国際通りを散策する時間も取れ、おみやげ等のショッピングを楽しめたようです。外国に簡単には行けない時代が続いていますが、かすかな日差しも見えてきました。日本の良さにも目を向け、皆さんが身をもって体験したその素晴らしさを、これから外国の方に伝えていってほしいと思います。75回生国際総合科の皆さん、今回の国内研修旅行の経験を生かして、残りの高校生活も頑張ってください！今回アメリカに行けませんでした。アメリカは逃げません。じっくり英語力を伸ばし、コロナ終息後、チャンスを見つけ、友人同士や個人で、ぜひアメリカに行ってください！



最後に、生徒の皆さんが現地ですべての作品を紹介し、

外国に簡単には行けない時代が続いていますが、かすかな日差しも見えてきました。日本の良さにも目を向け、皆さんが身をもって体験したその素晴らしさを、これから外国の方に伝えていってほしいと思います。75回生国際総合科の皆さん、今回の国内研修旅行の経験を生かして、残りの高校生活も頑張ってください！今回アメリカに行けませんでした。アメリカは逃げません。じっくり英語力を伸ばし、コロナ終息後、チャンスを見つけ、友人同士や個人で、ぜひアメリカに行ってください！



(*マスクは、常時着用していましたが、写真撮影のときにのみ外しています。)

最後に、生徒の皆さんが現地ですべての作品を紹介し、

★1日目★
 海底のお魚を見て 腹が減る
 南国の しおかげ香る 石垣や
 ウミガメと 虹も見れたよ しあわせだ
 ★2日目★
 制御不能 世界遺産に 突っ込んだじゃった㊦
 大海原 エメラルド色 宝石箱
 シュノーケル 初めてづくしで 楽しいな
 カヌーした 揺れる感覚 まだ残る
 ★3日目★
 もっちゃんの トークスキルに 恐れ入る
 柔らかい 石垣の肉 美味しいな



ガラス屋の きれいなイヤリングに 一目惚れ
 夢のよう 自然が魅せる 神秘色
 ひとり聴く 朝5時アラーム 波の声
 夜の海 花火もできて 青春だ
 ★4日目★
 ぐぶりーさびら 別れが惜しい うちなーの地
 (さようなら) (沖縄)
 国際で ほんとはよかった 幸せだ
 みんなとね 過ごした日々は 宝物
 涼しさに 上着を羽織る 帰り道
 沖縄の 余韻に浸る バスの中
 別れ告げ 南ぬ島立ち 播磨ゆく



77回生は、JICA関西訪問♪

国際総合科1年生は、GWの合間の今月6日（金）、神戸にある「JICA関西」を訪問しました。施設見学をしたり、ケニア料理を食べたりしたほか、スリランカでサッカー、インドネシアでデザインを通じて国際交流をした経験を持つ元海外青年協力隊の織田芳孝さんのお話を伺いました。HAT神戸（県立美術館や人と防災未来センターの近く）にあり、一般の人も入って見学や食事をする事ができますので、普通科の皆さんも機会があれば、是非訪ねてみてください。以下、参加した生徒の感想より抜粋です。

- ◆ 私が住んでいる兵庫に、世界につながり、世界を救おうとするこのようなすばらしい施設があったんだと知り、とても感動し、より興味が深まりました。
- ◆ SDGsの目標が現実になるように、自分にできることがあれば積極的に行っていこうと思います。
- ◆ 自分自身の「好奇心」や「互いを知らうとする努力」が必要なのかなと思いました。
- ◆ 私は教育に深く関心があるので、将来的に海外の子どもたちに勉強を教えたいと強く思いました。
- ◆ 元々、視野を広げて誰かの役にも、自分の役にも立つ行動がしたくて、国際総合科に来ました。まさにその頂点のようなお話が聞いて嬉しかったし、やっぱり経験が作り出した余裕はとても憧れるものだなと再認識できました。
- ◆ 知らないことに興味をもつことでそれが関心が変わっていくと聞いたので、何事にも疑問を持って接していきたいです。探究もそうだと思うので、ささいなことにも気がつけるようにしたいです。



国際総合科4期生から後輩へのメッセージ (3) 「国際総合科を振り返って」

服飾ファッション専門教育機関 エスモードジャポン パリ校留学コース T・H

国際総合科でよかったと思うことは、まず何より、3年間同じ仲間と学校生活を送ることができたことです。友達との絆は3年間でじっくり、個性がぶつかることもありながら、深いものになったと思っています。

私が国際総合科で頑張ったことは、英語・英検取得のための勉強です。

やっぱり英語が好きで、もっと英語を話せるようになりたくて、国際総合科を選びました。だからこそ、定期テストや模擬試験の英語は高得点を取りたかったし、校内順位が高いととても嬉しかったです。英検準1級の取得には失敗しましたが、英検対策のおかげもあり、2年生の時に2級を取得することができました。

ほぼ毎日のように英語の授業がありましたが、それぞれの授業で内容が違っていたり、逆に重なっている部分を見つけたりと、楽しんで受けることができました。

コロナウイルスの影響により、海外研修には行けずでしたが、探究活動や授業内で英語を使うことも多かったです。みなさんがもし、海外研修に行くことができれば、私たちの分までとにかく英語を使って楽しんでほしいです！

『現在（いま）を最高値で通過して行ってください！』（東京事変「閃光少女」より）

5月15日(日)は、3年国際総合科のみなさんが訪れた石垣島を含む沖縄が日本に復帰して50周年となる日でした。50年前も雨天だったそうです。

みなさんにとっては「日本の中の沖縄県」が当然ですが、私を含め50歳代後半以上の方は「沖縄は日本ではない」時期を経験しています。さらに言えば、1879(明治12)年3月まで沖縄は「琉球王国」でした。

現在の世界も三木も、歴史的経緯を経て成立しています。

“Be Global!”

広い視野で、「地域から世界への空間的広がり」だけでなく「過去～現在～未来へつなげる歴史」にも目を向けて、普通科・国際総合科とも、探究活動に取り組んでください。[国際・探究推進部長 田尻 淳]

